

(仮称) 宮前区「希望のシナリオ」実現プロジェクト
宮前区ソーシャルデザインセンター立ち上げワーキンググループ

全体ミーティング1

令和4(2022)年7月24日(日) 13:30~16:30

オリエンテーション | 挨拶・本日の目的と進め方・自己紹介

00:05

宮前区役所企画課 山田:

- 本日の司会を務めさせていただきます、宮前区役所企画課の山田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- はじめに開会にあたりまして、宮前区役所企画課長の小出からごあいさつをさせていただきます。

00:23

宮前区役所企画課課長 小出:

- みなさんこんにちは。本日はお忙しい中、立ち上げワーキンググループミーティングにご参加いただきまして、誠にありがとうございます。私は宮前区役所企画課長の小出博美と申します。どうぞよろしくお願いいたします。
- コロナが急拡大しておりまして、換気や消毒など、こちらでも感染対策、できる限り行ってまいりますが、どうぞ参加者のみなさま個人におかれましては、マスクの正しい着用、咳エチケット、手指消毒など十分気を付けていただきながらご参加いただけたらと思いますので、その点についてよろしくお願いいたします。
- さて、宮前区役所では、平成30年度から令和4年度にかけて、地域におけるさまざまな市民活動の支援の仕組みを考えるために現地ツアーなどの活動を通して宮前区内の豊かな資源、みなさまの区民活動を再発見するという取り組みを行ってきました。
- 一時コロナで活動の中止を余儀なくされましたけれども、昨年は秋に活動を再始動しまして、ラウンドテーブルの実現を通して、宮前区らしい市民活動支援の仕組み、ソーシャルデザインセンターってどんな姿なんだろうということを区民の皆様と一緒に考えてまいりました。
- いただいたご意見を元に、宮前区がソーシャルデザインセンターのイメージの案をお示ししてご意見をいただいたところまでが、昨年度でした。3年度、昨年度にお示しをしたソーシャルデザインセンター像の案をもとに、区民の皆様とともに実際に「ソーシャルデザインセンター、どんなことをするのか?」や運営の方法の仕組みを考えたり、その考えた仕組みで実際にソーシャルデザインセンターを動かすといったことをしていきたいと思っています。
- 本日、宮前区役所職員、企画課、地域振興課、地域ケア推進課、生涯学習支援課の4課の職員が参加しております。宮前区のソーシャルデザインセンターのイメージ案もそうなんですけれども、本日のミーティングも区役所の職員は宮前区のことをよくしていこうと、区民の皆様と一緒に考える多

様な主体の一員として皆さんと一緒に行政ならではの悩みも含めて、ざっくばらんにグループワーク等で発言をさせていただきたいと考えています。

- その積み重ねを通して、区民のみなさんとい関係性を作ってそのいい関係性のなかから、区民のみなさんにいい形でフィードバックできる、何か新しい取り組みにつながっていったらと考えていますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。
- 今日、この場を新たな出会いの場、つながりの場にしつつ、お互いに学びあって、楽しみながら、1年間の活動をできたらと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございます。

03 : 29

山田 :

- 今日は区職員も皆さんと一緒に一員として、入らせていただいて、ご発言させていただきます。
- ただ組織を、皆さん区職員、背負ってきているわけではないので「あの時ああ言ったじゃないか」とか、「この時こう言ったじゃないかとか」とかというのはちょっと無しで。
- ただ職員もいろんな経験をしながら、こうすれば地域の人たちともっと協力できるんじゃないかと、思いを持って参加していただいていますので、そういった思いがあることをこの場限りで確認させていただき、それが次のステップにつながっていけば良いなと思っています。
- 職員もそうですし、皆さん自身も自由にご発言いただいて、次につながって行けばいいのかなと思っています。
- それではこの後の進行については、株式会社石塚計画デザイン事務所さんをお願いします。
- まずは千葉さんに、これから全体の運営をお願いします。今日については、石塚計画デザイン事務所が全体の仕切りをやっていただきます。
- 今年度末に、もう一回ミーティングがございまして、そのまとめも石塚さんに仕切っていただく形にはなりますが、このソーシャルデザインセンター自体が市民主体で動かしていくことを目指してやっておりますので、ミーティング2までの間のミーティングについてすべて石塚さんが入っていただくということではない、というところだけご留意していただきたいと思います。
- それでは千葉さんお願いいたします。

05 : 01

株式会社石塚計画デザイン事務所 千葉 :

- みなさんこんにちは。ご紹介にあずかりました石塚計画デザイン事務所の千葉と申します。よろしく願いいたします。あと、担当の吉川です。今日は二人で進行のお手伝いをさせていただきます。よろしく願いいたします。
- まちづくりのコンサルタントという仕事をしています。でもデザイン事務所でもあって、宮前ではみなさんのまちづくりのお手伝いも色々してきたのと、あとこのメロコスのデザインもさせてもらっているという経緯もあります。
- あと個人的には世田谷コミュニティ財団で理事をやっております、これも行政からのお金がついているわけでもなく、自分たちでまちづくり、コミュニティを応援するために自分たちでお金を集め

て、自分たちで支援もする、というような仕事をやっております。そういったものも、なにかお役に立てればなと思いながら、今日は進行をさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

- では、まず本日の目的を最初に説明します。
- ワーキンググループ、という会なんですね、今日ここが。だけど本当に初めて会う、という方ばかりだと思います。一部は顔馴染みの人もいると思います。
- まず、どういう会なのかという目的、進め方っていうのを共有していきたいと思っております。そして参加メンバーの思いということで、どういう気持ちで今日ここに集まられているのか、ということも最初にしっかり共有して、そしてこの会をこういうふうに進められたらいいよね、ということを考えていきたいと思っております。
- そういう意味では、今日みなさんの声を聞くまで、この会をこれからどうしていくのかっていうのは決めがたい部分もあるので、本当にみなさんあっての会だと思います。今日こうしていきたい、という話を色々伺いたいと思います。
- そして宮前区 SDC の大切にしたいことを共有しようということで、私のほうで多少、長い説明をする時間があります。そこでわかんないこととか、そういうことがあったらどんどん聞いていただきたいし、あと主にここに貼ってある（皆様の手元にも配られている資料を大きくしたものなんですけど）これのここがわからん、ここはこうなんじゃないか、というのもきっと出てくると思いますので、それはどんどん考えたり、書き加えながら進めていきたいと思っております。そういうことを踏まえて、ここにいる人たちが何を大切にしていきたいかという話をしたい。
- そして、今後の進め方ということで、ワーキンググループの言うなれば今日はキックオフみたいなものなので、実際はみんなのペースで、みんなが集まって議論する場になるといいのかな。こんな感じで進めていくぞっていう作戦会議みたいなことをやって終わる、というような流れかなと思っております。
- 進め方としては、最初に自己紹介、みなさんがどんな方なのかっていうのをみんなで共有することからはじめて、そこから私のほうで説明をしていくというふうにしたいと思っております。
- ワーク1というところで、宮前区らしい SDC を深めようと、大切にしていきたいものっていうのをみんなで出していく。休憩をはさんで、個別ミーティングという感じで、大きく2部構成で進めたいと思っております。
- あんまり情報をインプットする前に先に自己紹介に入るようにしたいと思っております。山田さんからお話あったように、職員も参加者ポジションで今日入っています。区が集めているので区がホスト側みたいな感じになりがちなんですけど、今日は何課の何、というわけではなくて、個人としてこう考えてることが言える場にしたいと思っておりますので、そういうルールでご了承ください。
- 「あの時あれ言ってたんで、地域振興課の人はこうだよ、企画課ではこうだよ」っていうのはひとまず置いてもらって。ただここで出た意見を、最後に課としてどう受け止めるの、というのを持ち帰って、考えてくれると思います。あくまで個人として、思ったことがいいやすい環境をつくってきたいと思っております。
- では自己紹介になります。

09 : 25

千葉 :

- ありがとうございます。結構長く活動されている、もう本当に「区づくり白書ってなんのこっちゃ」と思う人もいるかもしれないけど、ガーデン区構想って言って、宮前独自の構想を、ずいぶん昔に作られている。それは実現しようということで今まで頑張ってこられている方がいて。
- 「まち協」って言葉が出てきたんですけど、私も8年ぐらい今までお手伝いしてたんですけど、まちづくり協議会と言って、区と協働で、ボランティアベースでまちづくりのお手伝いをしている組織になっています。中間支援っていう、市民活動団体を応援する活動を市民がやっている。あとは課題解決の活動をやっているという組織で。
- まち協が、ってというのが結構キーワードになってくると思うんですけど、そういう組織が現状あって、こういうことをすでにやっている、ということも今日アイデアの中で色々出てくるんじゃないかと思います。
- あと全く新しい視点で入ってもらう、という方はこれがよくわからん、というのを言っていたのがすごく大事で。長くやっている、もうわかっているベースで話をしちゃうことって色々あると思います。なんかわからん、ってことがあれば、どんどん言っていたくとすごくありがたい視点だなと思います。
- ということで、いろんな立場で関わって、参加してくださっているのと、あと区役所の職員の自己紹介というのさらっといきましたけど、本当に市の職員もいれば区の中でも地域振興課っていう課とか、地域ケア推進課っていう福祉のこと、地域の包括ケアシステムとかをやっている課とか、あと今回の企画の主催をしている企画課とか、いろんな立場の課があります。
- それぞれがお付き合いしている団体さんとか地域の人っていうのもまた色々違う。こういう人たちのことも頭に浮かべながら、どういうふうにかこの宮前区 SDC を考えていくかっていうふうに関言いただければと思います。さっきも言ったように、これが課を代表した発言ではないのでそこはご了承いただければと思います。